

事務事業総点検1次評価（令和3年度実績）結果について

1. 1次評価の目的

各事業所管課が当事者意識を持ち、実施する事務事業について、PDCAサイクルを回し、所管課が自ら事業を見直し、改善していくためのチェック機能である。

2. 1次評価対象事業

原則、市が実施する予算を伴う全事業を対象とする。ただし、職員人件費や他会計への繰出金など、事務事業総点検に適さない事業は対象外とし、1,495事業について1次評価を実施した。

なお、新型コロナウイルスの影響により、すべて実施できなかった事業が54事業（イベントへの補助金交付事業など）あり、これらの事業は評価対象外とした。

3. 1次評価結果

評価区分	内容	R1	R2	R3
		事業数 (構成比)	事業数 (構成比)	事業数 (構成比)
S：期待を上回る	・目標以上の成果があがっている。	127 (8.4%)	126 (8.6%)	126 (8.4%)
A：期待通り	・事業の目的達成に向けて、成果が目標通り出ている。 ・活動実績に見合った十分な成果が出ている。 ・成果の更なる向上又は適正水準の維持が期待できる。	1,220 (81.2%)	1,211 (82.7%)	1,231 (82.3%)
B：期待を下回る	・目標達成に向けて、ある程度成果は出ているが、目標をやや下回っている。 ・活動実績に対する成果がやや低い。 ・成果達成のため、事業内容等の改善が必要	119 (7.9%)	106 (7.2%)	103 (6.8%)
C：期待を大きく下回る	・目的達成に向けた成果が出ていない。 ・事業実施の効果が認められない。 ・実施方法等の抜本的な見直しが求められる。 ・今後も成果が見込めず、事業自体の見直しが必要	37 (2.5%)	21 (1.4%)	35 (2.3%)
小計		1,503	1,464	1,495
－：実施していない	・実施する必要が無くなった又は必要がなかった。 ・天候不良等により実施が不可能となった。	20	87 (計78含)	71 (計54含)
合計		1,523	1,551	1,566

4. 昨年度の評価結果を踏まえ、取組内容等を改善した事業

所管課	事業名	年度	指標名	目標値	実績値	1次評価	改善した点等
交通政策課	自転車活用推進計画推進事業	R2	自転車関連啓発事業の参加者数	2,700人	817人	C	昨年度、啓発事業の1つとして実施する会場参加型イベント「サイクルフェス」の参加者数は、新型コロナウイルスの影響により減少した。このため、静岡市自転車サポーターとの協力のもと、自転車で各所を回る個人参加型イベント「サイクルラリー」の創出と「サイクルフェス」との同時開催といった工夫を行うことで、目標値を上回る参加者を確保した。
		R3		2,500人	2,877人	S	
こころの健康センター	うつ病・ストレス対策事業	R2	相談予定日における相談実施率	100%	100%	A	うつ病やストレス対策のために、相談受付や講座開催を通じ、うつ病の予防等の啓発を行っている。新型コロナウイルスにより、対面式の啓発活動が困難となったため、関連動画を作成・公開することで、いつでも、何度でも、うつ病防止等に係る内容を読覧できるようにした。指標は、過去の相談実績や講座参加者数を参考に読覧回数500件を想定したが、予想を大幅に上回る結果となり、うつ病防止やストレス対策に関して効果的な啓発ができた。
		R3	動画読覧回数	500件	8,961件	S	

5. 総括

○ 評価対象である1,495事業のうち、約90%に当たる1,357事業がS又はA評価であり、実施した事務事業については、新型コロナウイルスの影響を受けつつも、事業手法の変更といった対応を行うことで、期待通りの成果をあげることができた。

○ B・C評価となった事業の約7割が、新型コロナウイルスの影響を受けている。事業の中止や縮小等により、期待した成果を得ることができなかったことから、目的に応じた事業内容の再考などを検討していく必要がある。また、「事務事故がない執行」を求められる事業（選挙事務など）における事故の発生など、事務事業ミス・事故の件数が令和2年度と比べ増加しているため、事務事業の執行の際には関係法令の遵守や、事業実施プロセスを確認していく必要がある。

○ 事務事業総点検表に記載されている事務事業の中には、法令で実施を義務付けられる事業や政策的に実施している事業などが混在しているため、事業の性質や内容に応じた評価制度となるよう検討していく。